

みずほフィナンシャルグループ

第13期中間 株主の皆さまへ 事業活動のご報告

2014年4月1日 ▶ 2014年9月30日

CONTENTS

■ トップメッセージ	1
■ One MIZUHO 未来へ。お客さまとともに	3
■ 中期経営計画の進捗状況	5
■ 決算ハイライト	7
■ Close Up MIZUHO	11
■ 〈みずほ〉のCSR	17
■ 会社概要	19
■ 委員会設置会社 Q&A ウェブサイトのご案内	20
■ 株主さまインフォメーション	21



One MIZUHOの グループ一丸となって お客さまや株主の皆さま

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

中期経営計画 ～改革の成果が着実に実現～

わたくしどもの中期経営計画『One MIZUHO New Frontier プラン～みずほの挑戦～』は、スタートから1年半が経過し、折り返し点を迎えました。まずは、この間当社グループが実行してきたさまざまな構造改革が、着実な成果につながっておりますことを、ご報告申し上げます。

2013年には旧みずほ銀行と旧みずほコーポレート銀行、旧みずほ証券と旧みずほインベスターズ証券の統合をそれぞれ完了するとともに、グループ横断の顧客セグメントおよびプロダクツセグメント別の組織体制へ移行いたしました。続く今年度には委員会設置会社への移行や持株会社機能の強化等、グループ・ガバナンス態勢の高度化を進めております。

業績面でも、持株会社のもと、銀行・信託・証券が一体となった顧客セグメント別のユニット運営を通じてOne MIZUHOシナジー効果を実現する等、顧客部門を軸とした安定的・持続的収益構造への転換を着実に進めてまいりました。

さらなる進化に向けて、 銀行・信託・証券の一体戦略を力強く推進し、 に、その成果をしっかりとお届けしてまいります。

2014年度中間期決算 ～上期進捗は順調～

今年度上期業績につきましても、連結中間純利益が3,552億円と、年度計画に対する進捗率は64%となり、順調な結果となっております。

自己資本も、普通株式等Tier1比率（第11回第11種優先株式含む）は完全施行ベースで9.94%と、中期経営計画の目標である8%を上回る水準で推移しており、質・量両面での拡充が進んでいます。

2014年度の普通株式の年間配当金は、従来予想通り、2013年度の配当額から50銭増額した一株当たり7円とさせていただくとともに、優先株式は所定の配当を実施する予定です。また、今年度も引き続き中間配当（普通株式は一株当たり3円50銭、優先株式は所定の配当）を実施いたしました。

One MIZUHOの さらなる進化に向けて

当社グループは、今後もグループ一体運営の強化に向けた変革を着実に推進し、One MIZUHO

のさらなる進化を目指してまいります。

今後、新しい体制を適切に運営することで、銀行・信託・証券の一体戦略を加速し、株主の皆さまにしっかりと成果をお届けするとともに、それを支える強固なコーポレートカルチャーの確立にも継続的に取り組んでまいります。

また、グローバルで開かれた総合金融グループとして、多様なお客さまのニーズにお応えするとともに、新産業の育成や成長資金の供給等にも積極的に取り組むことで幅広く経済・社会に貢献し、金融機関としての社会的使命を全うするよう努力してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、引き続き、変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2014年12月

取締役
執行役社長 グループCEO

佐藤 康博